THE CENTER OF EXCELLENCE FOR SPINE AND JOINT SURGERY
医療法人財団 岩井医療財団
IWAI MEDICAL FOUNDATION
IWAI GROUP

〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

宣誓書

2021 年 4 月 1 日

岩井医療財団はグローバル・コンパクト（以下 GC）を支持し、人権、労働、環境、腐敗防止に関する GC の 10 の原則並びに持続可能な開発目標（SDGs）達成への取組を、継続して実践することをここに宣言いたします。

本文書は岩井医療財団の GC に対する取組内容とその成果を説明し、ステークホルダー及び公に明言するものであります。

なお、会員として得られた他社・団体に関する情報を、第三者に漏洩しないことをお約束します。

医療法人財団　岩井医療財団
理事長　岩井　宏樹

岩井 宏樹

〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

当グループの理念

IWAI Value

医療を通じて患者さんの幸せに資する。

IWAI Promise

最高の医療を提供する。

IWAI Way

常に革新的である。

・患者さんの安全を優先して行動します。

・豊富な選択肢の中から患者さん個々にあった医療を提案・提供します。

・情報を積極的に活用・開示して、医療の質を向上させます。

・常に新たなスキル、コンセプトを取り入れ、患者さんのため、スタッフ自身のため、挑戦し続けます。

The IWAI Philosophy

We contribute to patients becoming happier through medical care.

The IWAI Promise

We provide the best medical care for patients.

The IWAI Way

We are always innovative.

The IWAI Values

We provide the most appropriate medical care for individual patients.
We utilize and disclose medical information to improve the quality of our medical services.
We continue challenging ourselves by assimilating new techniques and concepts to benefit ourselves and the patients.

〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

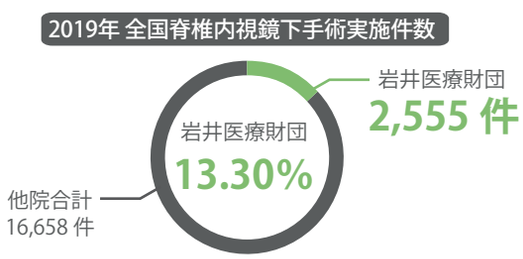
当グループの取り組み

健康と福祉

● 日本全国の脊椎内視鏡下手術の 13％を実施

当グループでは、2001 年に脊椎内視鏡下手術を開始して以来、計 20,000 件以上の手術を行っております。脊椎内視鏡下手術は従来の手術に比べ、傷口がわずか数センチと小さい為、術後の痛みが少なく、早期社会復が可能など多くの利点がある治療法です。また、術者にとっても手術野を拡大して見る事ができ微細な操作が行える等の利点があります。

当グループは低侵襲手術 (患者さんの身体に負担の少ない手術) に特化しております。日本国内で 1 年間に行われる脊椎内視鏡下手術のうち、約 13% が当グループで実施されています（参考文献：日本整形外科學會雜誌 第 95 巻 第 1 号）。



● アスリートの早期競技復帰を手助け

品川区にある稲波脊椎･関節病院では、プロアスリートから、一般のスポーツ愛好家まで、多くの方が ACL(膝前十字靭帯) 再建術を受けています。稲波脊椎･関節病院の 2018 年の ACL 再建術件数は、都内で最多でした (参考文献：朝日新聞出版「週刊朝日 手術数でわかるいい病院 2020」)。

稲波脊椎･関節病院で行っている ACL 再建術の最大の特徴は、競技復帰が早いことです。術後翌日からリハビリを開始し、術後 10 日程度で退院、約半年程で本格的なスポーツ復帰が可能です。保護期間を短くすることで身体の機能低下を防ぎ、確実な競技復帰につなげています。

● 外国人患者受け入れ体制の強化

当グループでは、日本語で意思の疎通ができない患者さんにも安心して診療をうけていただくために、下記の取り組みを行っております。

・検査同意書、問診等の書類を各種言語で用意
・ポケトーク、電話通訳システムを導入
・委員会で外国人患者対応の課題を協議
・来日前に当院での治療可否を判定するコンサルテーションサービスを実施

〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

● COVID-19 患者の受け入れ

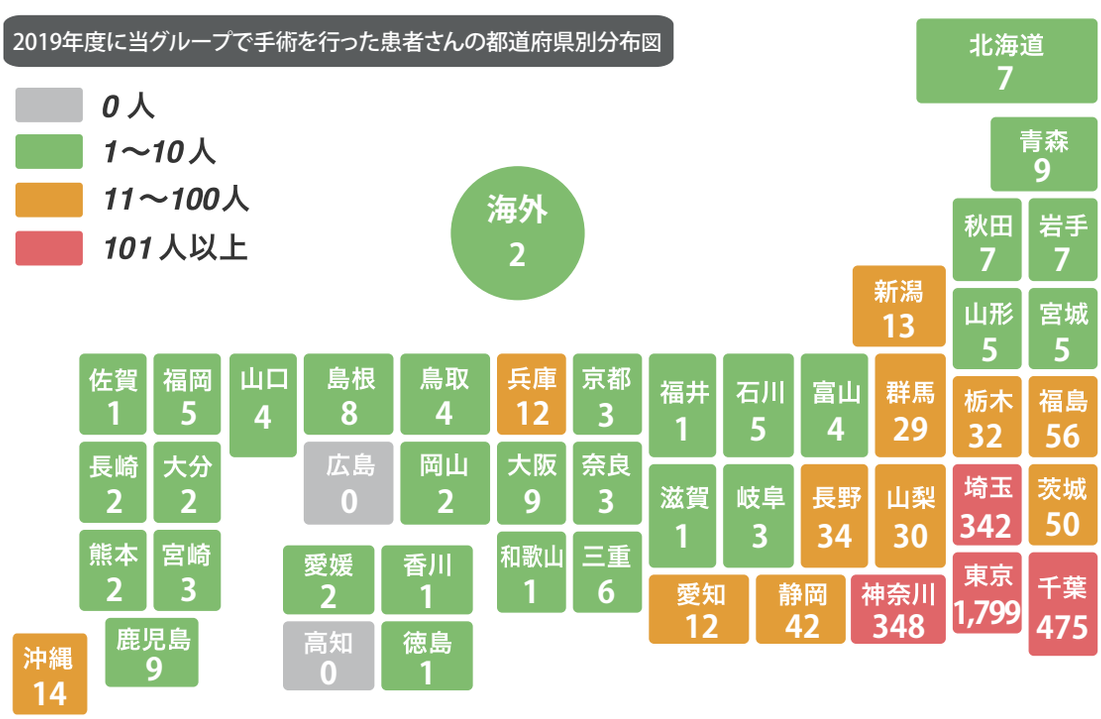
江戸川区にある岩井整形外科内科病院では、区内の病床の逼迫に伴い COVID-19 患者の受け入れを行いました。今後も自治体からの要請に応じて患者受け入れを検討してまいります。

● 全国各地から患者さんが来院

岩井整形外科内科病院の前身である岩井病院の開設以来、全国から非常に多くの患者さんにご来院いただいております。

2015 年、より遠方からアクセスしやすい東京都品川区に 2 院目として稲波脊椎・関節病院を開設いたしました。

遠方から来院される患者さんの受け入れ体制が整った現在は、1 年間で手術を受けた患者さんのうち約半数が都外在住の方となっております (2019 年度調べ)。



〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

当グループの取り組み

教育

● 他医療機関の医師や看護師に向けた教育セミナーの主催

当グループでは、低侵襲脊椎治療の技術を自院だけで独占するのではなく、他院医療従事者にも教育・啓蒙することで、治療技術のレベルアップを図ることができると考えております。2019 年度には医師向け、手術室看護師向けのセミナーを主催しました。

2019 年 9 月 11 日 「第 4 回　SENSE（Spine expert nurse seminar）」

SENSE は全国各地の手術室看護師を当院にお招きし、手術見学や講習を通して看護の質を高めていただくことを目的としています。
手術見学では、看護師の動きなどを確認し、チームワークが必要な手術現場で、安全・正確な手術の実施方法や、効率的な手術室運営の方法について学んでいただきました。
その他にも、座学での知識の再確認や、実際の機器と模型を使ってのシミュレーションなど、内容の充実したセミナーとなりました。
参加された看護師さんからは、「狭い空間を工夫している様子に、自院でもできるのではと考えさせられました」「今まで担当した手術で、理解できてない部分が多々あることに気がつきました。今回の学びを今後の手術にもつなげていきたいです」など、多くのご感想を頂きました。

2019 年 10 月 25 日～ 26 日 「第 1 回 岩井グループ 脊椎内視鏡手術セミナー」

本セミナーは、全国各地からお集まりいただいた 12 名の医師にご参加いただきました。
当日は手術手技の講義や、その患者さんに手術を行った経緯についてのプレゼンテーションの後、実際に手術室に移動し、3 室同時並行の手術を Live Surgery 形式で自由に見学していただきました。
また、東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科の大島先生による、「頚椎後方除圧術」に関する講義もありました。そして、台湾からお招きした Dr. Jwo-Luen Pao からは、最新の術式「UBE（Unilateral Biportal Endoscopic）」に関する特別講演もいただきました。
参加された先生方には 2 日間にわたり、10 回以上の講義を受講、11 例の手術をご見学いただきました。
当グループとしても、ご参加いただいた先生方や、ゲストの先生方より新しい見解や情報をいただくことができ、大変有意義な会となりました。

THE CENTER OF EXCELLENCE FOR SPINE AND JOINT SURGERY
医療法人財団 岩井医療財団
IWAI MEDICAL FOUNDATION
IWAI GROUP
〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

● 地元の学生の職場体験・訪問の受け入れ

岩井医療財団は、将来の医療従事者の育成のために、地元学生に対しより良い職場体験の場を提供したいと考えております。2019 年度は岩井整形外科内科病院、稲波脊椎・関節病院合わせて計 6 校の職場体験、訪問を受け入れました。

職場体験では、多職種で病院が成り立っていることを学んでもらうために、外来や病棟、手術室、検査部、薬剤部、リハビリテーション科、栄養科、事務部門など、各部署の業務を体験していただきます。

職場体験が彼らの将来の夢や進路を決めるときに少しでも役に立つことを願い、これからも学びの場を提供してまいります。

2019年 9月12～13日 稲波脊椎・関節病院　近隣中学校の職場体験の様子

看護部（外来）

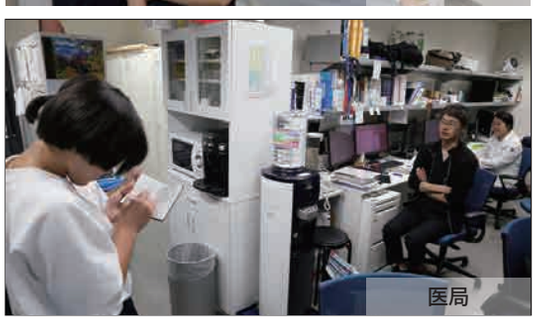
看護部（病棟）

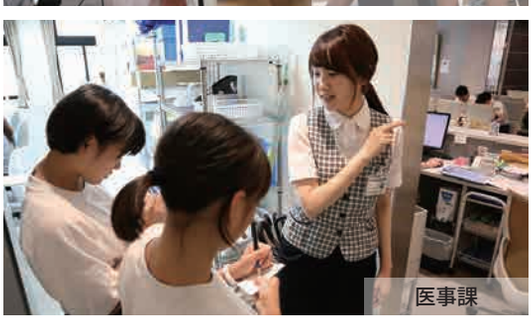
看護部（手術室）

薬剤部

放射線科

リハビリテーション科


医局


医事課

〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

他院からの専修医の受け入れ

脊椎内視鏡下手術に熟練した医師が多く在籍している当グループには、他院から多くの脊椎外科医が国内留学にいらっしゃいます。特に東京大学医学部付属病院からは、毎年 1 名が常勤医師として 1 年間当グループに在籍し、脊椎内視鏡下手術の研鑽を積んでおります。

2019 年度は東京大学医学部付属病院と、信州大学医学部附属病院よりそれぞれ 1 名ずつの医師が当グループに出向し約 1 年間の研修を終えられました。

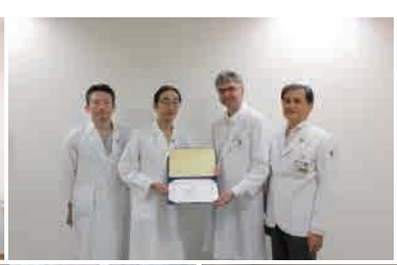
当グループでの研修を終えた医師の中には、その後、日本整形外科学会の脊椎内視鏡下手術･技術認定医の資格を取得する医師もいます。脊椎内視鏡下手術・技術認定医とは、脊椎内視鏡下手術の高い技術を有する医師のみが取得できる資格です。申請に多くの要件があり、日本の認定医制度の中でも、取得が難しい資格のひとつと言われています。

現在、脊椎内視鏡下手術・技術認定医は都内に 22 名おりますが、そのうち 10 名が当院に勤務している医師、もしくは当院で研鑽を積んだ医師です。

国外からの臨床修練医の受け入れ

岩井整形外科内科病院は、日本の医師免許を持たない外国人医師も診療行為が可能になる外国医師臨床修練病院の指定を受けています。2019 年度は台湾から 3 名、クウェートから 1 名、ドイツから 1 名の医師を臨床修練医として受け入れ、診療行為を通した研修を行いました。なお、臨床修練医の日本滞在費、食費の一部は当グループが負担しています。

名前	国籍	修練期間
Dr.Giby Abraham Cherry Phillips	クウェート	2019/4/1～2019/6/30 （13週間）
Dr.Po-Feng Liao	台湾	2019/6/10～2019/8/20 （10週間）
Dr.Mao-Yu Chen	台湾	2019/10/16～2019/12/15 （8週間）
Dr.Alf Giese	ドイツ	2019/12/16～2020/1/31 （6週間）
Dr.Shang Po Wang	台湾	2020/2/3～2020/2/28 （3週間）



〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

● 手術見学の受け入れ

当財団では教育の一環として他医療機関の医師の手術見学を受け入れております。近年では、国内だけでなく、海外の医師も見学に来られています。医師以外にも看護師や医療機器メーカー等業者の受け入れも行っており、2019 年度は合計 56 名の手術見学がありました。

見学人数	稲波病院		岩井病院		合計	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
医師（延べ人数）	25	5	46	0	71	5
看護師（延べ人数）	1	0	0	0	1	0
業者（延べ人数）	0	0	13	0	13	0
合計（延べ人数）	26	5	59	0	72	5
実人数	28		28		56	

● 論文投稿・学会発表

医師をはじめとする医療従事者には、臨床研究について学会や医学雑誌で発表する責務があります。常に新しい研究成果を公表していくことで、さまざまな治療の可能性を共有し、医療の進歩や質の向上が期待できます。

日本語の論文を執筆・国内の医学雑誌に投稿するのも意義のあることですが、全世界で広く出版されている医学雑誌は英語が主流です。英語で出版されている医学雑誌は、流通量・情報量共に多く、情報のスピードも日本語の医学雑誌と比べて優位な立場にあります。

国際誌に論文が掲載されるには厳しい査読基準がありますが、当グループに所属する医師は、多くの英語論文を執筆し、国際誌に掲載されている実績があります。

	2019年度　論文発表状況		2019年度　学会発表状況
英語発表	10 件		3 件
日本語発表	9 件		15 件

● 当グループ会長　稲波 弘彦 医師の論文が『Nature』の姉妹誌「Scientific Reports」に掲載されました。
掲載日：2020 年 4 月 21 日
主題：「Relationship between lumbar lordosis and the ratio of the spinous process height to the anterior spinal column height.」

〒133-0056　東京都江戸川区南小岩 8-17-2
8-17-2 Minamikoiwa,Edogawa-ku,Tokyo 133-0056,Japan

当グループの取り組み

エコへの取り組み

● 省エネルギー、省資源の推進

当グループで使用している紙類 (コピー用紙、トイレットペーパー、ペーパータオル等) は 100％再生紙を使用しています。
また、省資源にも努めており、2018 年度から 2019 年度にかけては電気 (電気料金 2,830,389 円分)、ガス (ガス料金 56,458 円分) の 2 分野で前年比削減を達成いたしました。

● エコキャップ運動への参加

当グループでは職員や患者さんにご協力いただき、エコキャップの回収を行い、回収したエコキャップはＮＰＯ法人キャップの貯金箱推進協会にお送りしております。
2019 年 3 月から 2020 年 10 月までに回収したキャップは 31.3kg、13,459 個 (概算) でした。これはポリオワクチンにすると 15.65 人分になります。また、CO2 の削減量に換算すると 98.6Kg です。

格差是正

● 外国人職員の雇用

当グループは年齢、性別、人種、民族などで区別することなく、外国籍の方も雇用しております。
現在当グループには 7 名の外国人職員が勤務しており、その全員が日本人と同じ待遇での雇用形態となっています。

● すべての職員が働きやすい環境づくり

当グループは健康管理部を設置し、健康問題やハラスメント等に対し、常に保健師が相談に応じ、個別にサポートを行えるよう環境を整えております。
また健康管理部ではストレスチェックも定期的に行っており、すべての職員が心身ともに健康な状態で活躍できるよう取り組んでいます。